



令和3年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

令和3年7月29日

上場会社名 多木化学株式会社

上場取引所 東

コード番号 4025 URL <https://www.takichem.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 多木 隆元

問合せ先責任者 (役職名) 総務人事部長 (氏名) 大橋 正

TEL 079-437-6002

四半期報告書提出予定日 令和3年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和3年12月期第2四半期の連結業績(令和3年1月1日～令和3年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
3年12月期第2四半期	16,172	6.5	1,479	41.5	1,643	29.9	1,078	15.4
2年12月期第2四半期	15,178	7.7	1,045	4.9	1,265	5.9	934	12.0

(注) 包括利益 3年12月期第2四半期 1,684百万円 (%) 2年12月期第2四半期 75百万円 (88.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
3年12月期第2四半期	124.64	
2年12月期第2四半期	108.08	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
3年12月期第2四半期	43,994	28,409	64.2
2年12月期	42,939	27,079	62.7

(参考) 自己資本 3年12月期第2四半期 28,264百万円 2年12月期 26,936百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2年12月期				45.00	45.00
3年12月期					
3年12月期(予想)				45.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和3年12月期の連結業績予想(令和3年1月1日～令和3年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,500	1.1	1,650	6.2	2,050	5.4	1,500	3.8	173.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	3年12月期2Q	9,458,768 株	2年12月期	9,458,768 株
期末自己株式数	3年12月期2Q	804,996 株	2年12月期	810,588 株
期中平均株式数(四半期累計)	3年12月期2Q	8,650,063 株	2年12月期2Q	8,642,289 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。また、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」もご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により依然として厳しい状況で推移しました。景気の先行きについては、感染拡大の防止策を講じ、ワクチン接種を促進するなかで、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが続くことが期待されるものの、感染再拡大の懸念があり、不透明な状況にあります。

このような環境の中、当社グループにおいては本年度を初年度とする「中期経営計画2023」に基づいて、既存事業の収益力向上などに努めた結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は161億72百万円（前年同期比6.5%増）、営業利益は14億79百万円（前年同期比41.5%増）、経常利益は16億43百万円（前年同期比29.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は10億78百万円（前年同期比15.4%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、経営管理方法を最適化するため、従来「アグリ」セグメントに含めておりました製品の一部を「化学品」セグメントに、「化学品」セグメントに含めておりました製品の一部を「アグリ」セグメントに区分を変更しております。

また、「化学品」セグメント内の区分整理を行い、従来「機能性材料」に含めておりました製品の一部を「水処理薬剤」に、「その他化学品」に含めておりました製品の一部を「水処理薬剤」、「機能性材料」に区分を変更しております。

以下の前年同期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

(アグリ)

肥料の販売価格は値下がりしたものの、販売数量が秋用肥料の値上がりを見越した駆け込み需要の影響などで増加したことにより、売上高は53億53百万円と前年同期に比べ13.2%の大幅な増加となりました。

(化学品)

水処理薬剤は、販売数量が超高塩基度ポリ塩化アルミニウムなどの好調な出荷により増加し、売上高は40億81百万円と前年同期に比べ2.1%の増加となりました。

機能性材料は、生産調整が続いていたスマートフォン向け高純度酸化タンタルと新型コロナウイルス感染症により一時的に需要が低迷した自動車関連セラミック繊維向け高塩基性塩化アルミニウムの販売数量が回復し、売上高は25億38百万円と前年同期に比べ42.4%の大幅な増加となりました。

その他化学品の売上高は95百万円と前年同期に比べ13.8%の減少となりました。

それらの結果、売上高は67億15百万円と前年同期に比べ14.0%の大幅な増加となりました。

(建材)

石こうボードの販売数量が減少したことに加え、販売価格が下落したことにより、売上高は14億12百万円と前年同期に比べ7.5%の減少となりました。

(石油)

燃料油の販売価格は原油価格の上昇により値上がりしたものの、販売数量が減少したことにより、売上高は9億20百万円と前年同期に比べ3.8%の減少となりました。

(不動産)

ショッピングセンターの賃料収入が、リニューアル工事に伴い減少したことなどにより、売上高は6億49百万円と前年同期に比べ14.7%の大幅な減少となりました。

(運輸)

荷動きが低調に推移したことにより、売上高は11億20百万円と前年同期に比べ14.7%の大幅な減少となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、439億94百万円（前連結会計年度末比10億54百万円増）となりました。流動資産は、受取手形及び売掛金が13億45百万円、電子記録債権が4億74百万円増加しましたが、現金及び預金が14億3百万円、商品及び製品が6億2百万円減少したことなどにより、218億88百万円（前連結会計年度末比10百万円減）となりました。固定資産は、有形固定資産が4億1百万円、投資有価証券が7億38百万円増加したことなどにより、221億6百万円（前連結会計年度末比10億65百万円増）となりました。

負債の部は、預り保証金が2億72百万円減少したことなどにより、155億85百万円（前連結会計年度末比2億75百万円減）となりました。

純資産の部は、利益剰余金が6億89百万円、その他有価証券評価差額金が6億0百万円増加したことなどにより、284億9百万円（前連結会計年度末比13億30百万円増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点においては、令和3年2月8日に公表いたしました令和3年12月期の業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和2年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (令和3年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,426	5,022
受取手形及び売掛金	8,302	9,647
電子記録債権	1,496	1,970
有価証券	—	101
商品及び製品	2,866	2,263
仕掛品	205	234
原材料及び貯蔵品	2,191	2,203
その他	421	455
貸倒引当金	△10	△10
流動資産合計	21,898	21,888
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	20,118	20,319
減価償却累計額	△15,200	△15,353
建物及び構築物(純額)	4,918	4,965
機械装置及び運搬具	16,473	16,585
減価償却累計額	△14,532	△14,728
機械装置及び運搬具(純額)	1,941	1,856
工具、器具及び備品	1,458	1,451
減価償却累計額	△1,322	△1,330
工具、器具及び備品(純額)	136	121
土地	6,420	6,419
リース資産	455	454
減価償却累計額	△22	△33
リース資産(純額)	433	421
建設仮勘定	29	496
有形固定資産合計	13,878	14,280
無形固定資産		
ソフトウェア	20	15
水道施設利用権等	11	10
ソフトウェア仮勘定	455	515
無形固定資産合計	486	542
投資その他の資産		
投資有価証券	6,241	6,980
繰延税金資産	216	100
その他	254	238
貸倒引当金	△36	△36
投資その他の資産合計	6,675	7,283
固定資産合計	21,040	22,106
資産合計	42,939	43,994

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和2年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (令和3年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,430	4,434
短期借入金	373	375
1年内返済予定の長期借入金	71	60
リース債務	34	34
未払金	1,179	1,077
未払法人税等	394	408
未払消費税等	178	188
賞与引当金	42	41
その他	607	671
流動負債合計	7,313	7,292
固定負債		
長期借入金	515	455
リース債務	442	428
繰延税金負債	438	632
退職給付に係る負債	3,850	3,752
預り保証金	3,109	2,837
その他	189	187
固定負債合計	8,547	8,292
負債合計	15,860	15,585
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,147	2,147
資本剰余金	1,342	1,372
利益剰余金	22,361	23,050
自己株式	△742	△736
株主資本合計	25,109	25,834
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,854	2,455
退職給付に係る調整累計額	△27	△24
その他の包括利益累計額合計	1,827	2,430
非支配株主持分	143	144
純資産合計	27,079	28,409
負債純資産合計	42,939	43,994

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和2年1月1日 至 令和2年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和3年1月1日 至 令和3年6月30日)
売上高	15,178	16,172
売上原価	11,261	11,774
売上総利益	3,916	4,397
販売費及び一般管理費	2,870	2,918
営業利益	1,045	1,479
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	194	141
その他	42	45
営業外収益合計	240	190
営業外費用		
支払利息	6	6
固定資産除却損	9	10
その他	4	9
営業外費用合計	20	26
経常利益	1,265	1,643
特別利益		
固定資産売却益	14	—
特別利益合計	14	—
特別損失		
減損損失	—	7
投資有価証券評価損	25	5
固定資産除却損	—	96
特別損失合計	25	109
税金等調整前四半期純利益	1,253	1,533
法人税、住民税及び事業税	328	418
法人税等調整額	△10	34
法人税等合計	318	453
四半期純利益	934	1,080
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	934	1,078

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和2年1月1日 至 令和2年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和3年1月1日 至 令和3年6月30日)
四半期純利益	934	1,080
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△861	600
退職給付に係る調整額	2	2
その他の包括利益合計	△859	603
四半期包括利益	75	1,684
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	74	1,681
非支配株主に係る四半期包括利益	0	2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症は、経済、企業活動に広範な影響を与えており、当社グループの事業活動にも影響を及ぼしております。

このような状況が、当連結会計年度中は一定期間継続するものと仮定して、需要を予測した上で固定資産の減損や繰延税金資産の回収可能性等にかかる会計上の見積りを行った結果、新型コロナウイルス感染症による重要な影響はないと判断しております。

なお、現在の状況及び入手可能な情報に基づき、合理的と考えられる見積り及び判断を行っておりますが、新型コロナウイルス感染症の再拡大や収束時期等の見積りには不確実性を伴うため、実際の結果はこれらの見積りと異なる場合があります。